



## 令和5年度の普及指導活動が始まりました

農政普及課長 中園 千尋

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が継続する中、突然のロシアによるウクライナ侵攻、円安の進行、新興国の経済発展による需要増などに起因する**生産資材や燃油等の高騰**や**台風・雪害等の気象災害**、県内・国内で続発した**高病原性鳥インフルエンザの発生**など、農業・農村を取り巻く環境はこれまで以上に厳しい状況でした。

一方、昨年10月に開催された第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会では、出品者をはじめ、関係機関・団体など多くの関係の皆様の大なる御尽力等により、本県が**2大会連続となる「和牛日本一」**の栄冠に輝くなど明るい話題もあったところです。

令和2年1月から猛威を振るった新型コロナウイルス感染症は令和5年5月8日から5類感染症に移行され、正常な社会経済活動が戻ってくることが期待されています。

このような状況の中、令和5年度の普及指導活動に当たっては、ウィズコロナの観点で基本的な感染症防止対策に努めながら、以下のとおり取り組んでまいります。

### 令和5年度の普及指導活動の内容

- ① さつまいも安定生産に向けた基腐病対策の推進
- ② 桜島地域営農が持続的に発展するための生産体制づくり
- ③ 地域営農が持続的に発展するための仕組みづくり
- ④ 鹿児島市の農業を支える担い手の確保・育成
- ⑤ 都市近郊の多彩な消費者ニーズに応える産地づくり
- ⑥ 三島村・十島村の農畜産業の振興



第12回全国和牛能力共進会 第3区優等賞2席



サツマイモ基腐病現地検討会

上記6つを基本課題として、地域農業の課題解決を図るため、**新規就農者の育成など農業担い手の確保**、**地域営農を維持するための仕組みづくり**や**地域の将来を描く地域計画の策定支援**、**生産資材等の高騰への対応**、**スマート農機・機器の実装化促進**など、農業の稼ぐ力を向上させるための普及指導活動を展開します。

なお、普及指導活動を進めるに当たっては、指導農業士、女性農業経営士、普及協力員及び関係機関・団体等と十分な連携、役割分担を図りながら、円滑で総合力を発揮できる活動を目指します。

皆様、令和5年度も、どうぞよろしくお願いたします。

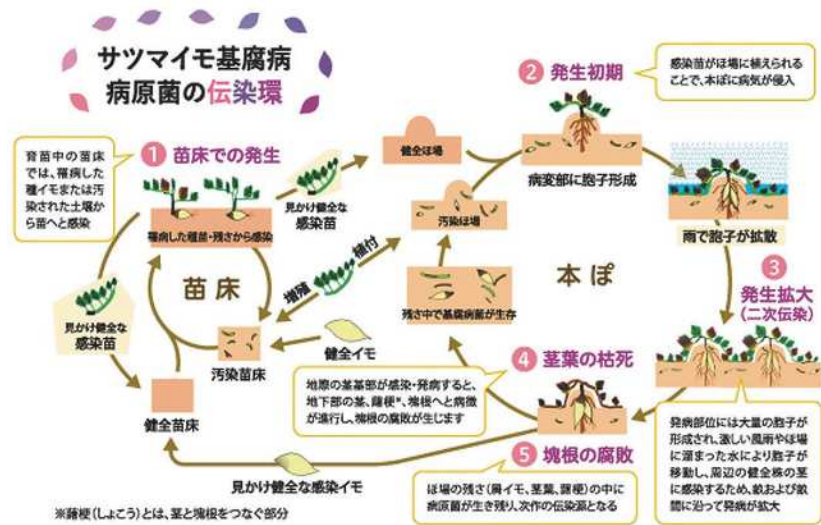
# サツマイモ基腐病を防ごう！

サツマイモ基腐病は、さつまいもが糸状菌(カビ)の一種に感染することで発病します。

発病すると茎や葉が枯れ、土中のさつまいもが腐る病気です。病原菌に感染した種いもや苗、株、ほ場などに残った茎、葉、さつまいも、および汚染土壌が伝染源になります。サツマイモ基腐病の病原菌の性質は、①発育温度範囲は15～35℃(適温は28～30℃)、②ヒルガオ科の植物(主にさつまいも)のみに感染、③病原菌の感染は育苗時、栽培時、収穫物の貯蔵時など

です。基腐病では、栽培時のすべての過程(伝染環の図をご覧ください)で病気が広がらないように対策を講じる「総合的な取組」が必要で、「持ち込まない」「増やさない」「残さない」を徹底することが大切です。

[NARO 広報なるNO.26](農研機構発行)から一部修正・転載



です。基腐病では、栽培時のすべての過程(伝染環の図をご覧ください)で病気が広がらないように対策を講じる「総合的な取組」が必要で、「持ち込まない」「増やさない」「残さない」を徹底することが大切です。

[NARO 広報なるNO.26](農研機構発行)から一部修正・転載

# 家畜の暑熱被害を防ぎましょう

家畜の暑熱被害を防ぐためには、事前の「備え」が重要です。

※取り組んだ項目に、 (チェック)を入れましょう！

## 家畜の体感温度の低下

飼育密度の緩和、換気扇や扇風機による畜体等への送風や散水、細霧を行い、家畜の体感温度を低下させることが重要です。



扇風機や細霧

## 畜舎環境の改善

寒冷紗やよしずによる日除け、屋根裏・壁・床への断熱材の設置及び屋根に消石灰の塗布を行うことが重要です。



寒冷紗等の日除け

## 飼養管理

良質で消化率の高い飼料の給与、ビタミンやミネラルの追給及び清浄で冷たい水の給与が重要です。

## 飼料作物の管理

夏枯れ等により草勢の低下が見られた場合には、必要に応じて追播や播種直後の雑草防除等の的確な維持管理作業を行うことが重要です。



屋根の消石灰塗布

# 農作業事故防止と熱中症対策

## 1 農作業死亡事故の発生状況

本県では、農作業死亡事故が平成25年から令和4年までの10年間(表1)に130件発生しています。そのうち、農業機械作業による死亡事故は105件発生し、農作業事故による死亡者の平均年齢は73.3歳で、65歳以上が全体の約8割、80歳以上が全体の約4割となっています。特に農業機械等の作業が多くなる春(3月から6月)と8月から10月の農繁期に多く発生する傾向があります(表2)。この時期は熱中症リスクが高まる時期でもありますので、適切な水分補給に努めましょう。

(表1) 農作業中の死亡事故発生状況(H25~R4合計) 単位：件、%

農作業死亡事故	うち農業機械作業による死亡事故	平均年齢(歳)	うち65歳以上層の死亡事故	うち80歳以上層の死亡事故
130	105(81)	73.3	101(78)	50(38)

注) ( ) 内は発生事故件数に対する割合(%)

(表2) 農作業死亡事故の月別発生件数(H25~R4) 単位：件

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
件数	6	8	15	17	16	18	4	14	10	12	8	2

## 2 熱中症のリスクと予防策

全国では、農作業中の熱中症により毎年約30人が死亡しており、猛暑日が続く真夏だけでなく、暑さに慣れていない初夏の高温日にも熱中症リスクが高まります。

- ☆ 高温時や単独での作業はできるかぎり避け、日陰や風通しのよい場所で作業を行いましょう。
- ☆ 喉の渇きを感じる前にこまめに水分と塩分を補給しましょう。
- ☆ つばの広い帽子や吸湿速乾性衣類や装具、空調服やミストファンなど様々な熱中症対策アイテムを積極的に活用しましょう。

# 令和5年度のパソコン簿記記帳会の案内です

鹿児島市担い手育成対策部会と共催で、本年度も以下の日時・会場でパソコン簿記記帳会を開催します。

青色申告に取り組む方は誰でも参加できますが、ノートパソコンと農業簿記ソフト(ソリマチ株式会社)の準備が必要です。この農業簿記ソフトは、一般の会計ソフトとは違い農業に特化しているのが特徴です。

また、新規就農者を応援するために、認定新規就農者は特別価格で購入できるので、農政普及課にお問い合わせください。

会場(時間)	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月
都市農業センター (13:30~16:00)	5月10日(水) (済み)	7月5日(水) 9月6日(水)	11月8日(水)	1月10日(水) 2月7日(水)
鹿児島市吉田支所 (13:30~16:00)	5月17日(水) (済み)	7月12日(水) 9月13日(水)	11月15日(水)	1月17日(水) 2月8日(木)
鹿児島市桜島支所 (13:30~16:00)	5月24日(水) (済み)	7月19日(水) 9月14日(木)	11月22日(水)	1月24日(水) 2月14日(水)
鹿児島市喜入支所 (13:30~16:00)	5月31日(水) (済み)	7月26日(水) 9月20日(水)	11月29日(水)	1月31日(水) 2月15日(木)
鹿児島地域振興局 (9:00~16:00)	—	—	—	2月21日(水) 2月22日(木)

# 令和4年度の各種農業士の認定者を紹介します

令和4年度は、鹿児島地域の2人の農業者が、知事から「女性農業経営士」と「青年農業士」に認定されました。今後のますますの御活躍を期待します。

女性農業経営士

よしだ まゆみ  
吉田 真弓(喜入・野菜)



【抱負】

研修会等には積極的に参加し、仲間との交流や情報収集に努め、併せて農業の魅力を伝えていきたいです。

農家生活や農業経営管理・労働管理等に優れ、実践力・発言力のある女性農業者を「女性農業経営士」として認定しています。

青年農業士

みなみ たかあき  
南 貴覚(吉田・畜産)



【抱負】

出荷率を上げ、飼養頭数20頭で年間15頭の出荷を目標に、資金と労働時間に余裕を持った経営を実現したいです。

プロジェクト活動を組み合わせた体系的な研修課程を修了し、地域農業振興の中核者となりうる青年を「青年農業士」として認定しています。

# 地域農業の振興に、職員一同がんばります！

## 農業振興係



中園千尋  
(農政普及課長)



中 庸一  
(補佐兼係長)



福岡一成



永井貴子



中山直子



中馬修一

## 畜産振興係



坂下邦仁  
(主幹兼係長)



岩田英稔



原 由香

## 経営普及係



上福元真寿美  
(主幹兼係長・経営)



柴立智子  
(経営)



水島真一  
(経営・作物)

## 技術普及係



坂元吉継  
(主幹兼係長・野菜)



坂元勇太  
(茶)



宮下浩秋  
(畜産)



神園孝浩  
(花き)



諏訪寛太  
(畜産)



岩根 啓  
(野菜)